

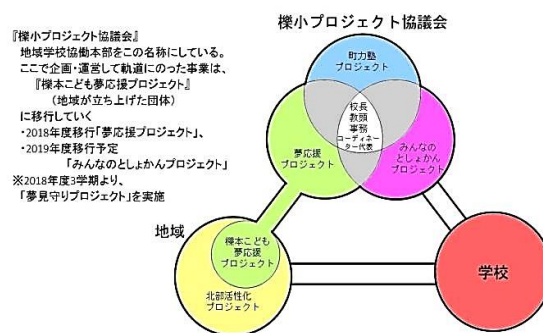
こんな活動です

4つのプロジェクト進行中！

～地域とともに、時代のニーズにこたえる学校づくりを目指します～

奈良県天理市		●活動名 櫛小プロジェクト協議会			●関係する学校名 天理市立櫛本小学校		
協働活動開始年度	平成 25 年度	関係学校数	1 校	のべ学級数	20 学級	のべ児童・生徒数	341 人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習		—			
	—	放課後子供教室		—			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	1人		—		9人		
学校運営協議会	指定・設置日		ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	
	令和2年4月1日設置予定		—	34人	—	—	
参考URL	http://www.city.tenri.nara.jp/kakuka/kyoukuiinkai/index.html						
●連絡先	天理市教育委員会事務局 まなび推進課			☎0743-63-1001			

●体制図



●活動の概要・経緯
本校は天理市の北部に位置し、古代豪族和爾氏のふるさととして、また、柿本人麻呂や在原業平にまつわる史跡もあり、交通の要衝地として発展した歴史ある地域である。
この地域の方々とともに組織していた地域学校協働本部だが、コミュニティ・スクールの導入を見越して、『櫛小プロジェクト協議会』と名称を変更し、地域の社会力を高めていく組織として取り組んでいる。そして、新たに校務分掌に位置づけた『学校運営協議会』にも、『櫛小プロジェクト協議会』の代表が構成員の一部として参加する。
以下は、昨年度の4つの活動である。この4つをプロジェクトチームとして組織し、地域の人たちのつながりを広げながら、さらに深化発展させていく。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①『みんなのとしょかん』（図書館開放）
長寿会による図書室の見守り活動。地域ぐるみで子育てしていくための第一歩として、図書館（図書室）を市民に開放。
- ②『町力塾（マチカ塾）』（放課後学習塾）
地域の次世代の担い手である全ての子どもたちに、「平等に通える塾（場所）をつくりたい。自ら進んで学ぶ姿勢を地域で育てていきたい。」という思いで始まった取組。運営は地域コーディネーターが中心となり、教材プリントは学校が用意する。
- ③『夢応援プロジェクト』
新しい世界へとび立とうとしている子どもたちに、大きな夢を持ってもらい、その夢を叶える応援をするイベント。
- ④『夢まもりプロジェクト』
子どもたちと一緒に登校してふれあいを深めていただけたら！毎朝学校まで歩いて元気を持続していただけたら！高齢者に思いを向ける子どもを育てていただけたら！という思いで、昨年2月から始まった新しいプロジェクト。

【実施に当たっての工夫】

- ①『みんなのとしょかん』週2回の図書ボランティアさんの見守り以外に、月1回、櫛本幼稚園の園児と保護者を招待し、地域コーディネーターや高学年の図書委員の読み聞かせも行っている。
- ②『町力塾（マチカ塾）』櫛本公民館の自習室を利用し、放課後に開催。手づくりプリントを子どもたちが自分で選び、復習中心の学習。参加した子どもにはカードを発行し、個人ポイントを加算する。その他、地域行事への参加などでもポイントがたまる。一定のポイントをためた児童に対して夢の実現に協力する。
- ③『夢応援プロジェクト』校区区長会にもご協力いただき、昨年度は「パティシエール」「プログラマー」「自動車整備士」「カメラマン」「イラストレーター」「医療従事者・栄養士」という6つのイベントを実施。それぞれプロフェッショナルの方にご指導いただき、どのイベントも大成功であった。
- ④『夢まもりプロジェクト』登校時、高齢の方を中心に子どもたちと一緒に学校まで歩いていただき、到着後は、メンバー専用の「櫛本夢ふれあい茶屋」で歓談していただく。お茶をお出しするのは高学年のボランティアさん。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域住民、長寿会や区長会など地域団体、連携企業等、多くの人々がコーディネーターを中心につなぎ、様々な取組を通して子どもたちとふれあう機会が多くなった。その結果として、自然にあいさつをする児童が増え、子どもたちの成長が地域の方々の喜びや生きがいもなった。さらに、地域で子どもを見守り育てるという意識が高まり、子どもたちの成長を応援することに対して主体的に関わる人が多くなった。

また、幼稚園児が『みんなのとしょかん』に参加することで、小1プロブレムの解消にも役立った。『町力塾』では、自ら学ぶ姿勢を身につけた児童が増え、学力向上につながった。

さらに、学校を中心として地域の方々が集い、子どもの成長という共通の話題を持つことで、地域住民どうしのつながりも広がり、子どもたちに関する様々な情報が学校に届きやすくなった。

●その他

連携企業等：奈良県遊技業協同組合、高井病院、graf(デザイン会社)



①『みんなのとしょかん』



②『町力塾（マチカ塾）』



③『夢まもりプロジェクト』



④『夢応援プロジェクト』